阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No.	9	ー	1	基本事務事業名	犬の登録、狂犬病予防事業	事務事業名	犬の登録、狂犬病予防事業	公的関与	1	シート作成日	令和3年11月17日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和	シート作成者名	坂東　拓也				

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営	□ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☑ 2 一部委託	□ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	1. やさしく健やかな阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(1)保健・医療の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(5)精神保健・感染症対策の推進	○ 2 非該当	根拠法令等：狂犬病予防法

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		犬の飼い主
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	飼い犬の登録、変更、死亡、狂犬病予防対策の円滑な実施を目的とする。
		今年度	飼い犬の登録、変更、死亡、狂犬病予防対策の円滑な実施を目的とする。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 犬の登録、変更、死亡、狂犬病予防対策。
	②
	③
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
狂犬病予防注射接種率	予防注射接種頭数/登録頭数	%	目標	100	100	100	
			実績	59	61		
狂犬病予防注射の広報啓発	狂犬病予防注射接種率の向上	回	目標	3	3	3	
			実績	3	3		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	106 千円	139 千円	139 千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,336 千円	1,295 千円	1,362 千円	
	計(A)	1,442 千円	1,434 千円	1,501 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人 3,019 千円	0.500 人 3,059 千円	0.500 人 3,044 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費(A+B)		4,461 千円	4,493 千円	4,545 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	狂犬病予防法施工規則で定めている。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	狂犬病予防法施工規則で定めている。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		狂犬病予防接種率は、前年度より微増した。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	効率性は良く、見直しの必要性はない。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合／終期設定	○ 廃止／休止			○ 縮小	○ 統合／終期設定	○ 廃止／休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	未登録犬の解消。	ペットや愛犬登録に関する記事を、広報誌やホームページなどを用いて定期的に掲載するなど、飼い主の意識を高める方策に努めます。
改革案と実行計画	広報等で周知し、狂犬病予防注射接種率100%を目指す。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No. 9 － 2	基本事務事業名	墓地管理事業	事務事業名	墓地管理事業	公的関与 5	シート作成日	令和3年7月22日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和	シート作成者名	桜川　治子

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営　☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託　☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年　☑ 期間設定なし
	主要施策	(5)市営墓地の適正管理	○ 2 非該当	根拠法令等：墓地埋葬法、阿波市墓地設置及び管理条例

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市有地墓地及び個人墓地
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市有墓地の適正管理を図ります
		今年度	市有墓地の適正管理を図ります

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 市営墓地の使用許可申請に基づき、現地確認後に許可証の交付
② 改葬許可申請に基づき許可証の交付
③ 市営墓地の維持管理
④ 墓地・納骨堂及び火葬場の経営許可
⑤ 市有・市営墓地台帳の整備

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
	目標設定になじまない		目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 環境衛生費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	4,978 千円	8,601 千円	4,305 千円	
	計(A)	4,978 千円	8,601 千円	4,305 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人　1,208 千円	0.200 人　1,224 千円	0.200 人　1,218 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		6,186 千円	9,825 千円	5,523 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市有墓地に対する市民のニーズは増えており、有効な管理運営が求められています。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	市内には街中から山間部に至るまで178か所の墓地が点在しています。そのため、全体を把握したうえで整備に優先順位をつけていくことも必要です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		現状維持管理のみにとどまっています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	社会情勢による墓の無縁化が墓地行政の課題です。将来は、各町に有料墓地（維持料徴収方式）の整備を検討していく必要があります。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	市営墓地（有料･無料）の墓床の数も少なくなっており、墓地の有効的な活用及び管理運営が急務となっています。	人口減少に伴う、無縁墓地の増加傾向など、墓地の維持管理は難しくなっています。 管理継承者の調査や住民意向の把握を行うなど、一層の適正管理に努めます。
改革案と実行計画	必要に応じて、無縁墓地の改葬あるいは有料墓地の造成を検討しています。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No. 9 － 3	基本事務事業名	公共施設動物死体処理業務	事務事業名	公共施設動物死体処理業務	公的関与 1	シート作成日	令和3年11月17日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　和正	シート作成者名	坂東　拓也

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法: ☐ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☑ 2 一部委託 / ☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波		平成　年　～　令和　年　☑ 期間設定なし
基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実	○ 1 該当	
主要施策	(1)ごみ収集・処理体制の充実	◉ 2 非該当	根拠法令等: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		道路等の動物死体
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	道路等の動物死体を収集、処分することで快適な生活環境を確保することを目的とする。
	今年度	道路等の動物死体を収集、処分することで快適な生活環境を確保することを目的とする。

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 動物死体の収集、処分。

②

③

④

⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
処理件数(実績)		件	目標				
			実績	434	405		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 環境衛生費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	8,928 千円	7,993 千円	7,664 千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	4,800 千円	4,202 千円	4,871 千円	
	計(A)	13,728 千円	12,195 千円	12,535 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人 604 千円	0.100 人 612 千円	0.100 人 609 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費(A＋B)		14,332 千円	12,807 千円	13,144 千円	

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	動物死体の処理は、保健衛生上から、素早く回収する必要がある。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	動物死体は不衛生のため、早急に除去する必要がある。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		市民からの通報には素早く対応できている。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	業者委託により迅速な対応ができている。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	通報がない場合、迅速に対応ができない。	良い衛生環境を保つため、委託業者との連携を密にし、迅速な回収に努めます。
改革案と実行計画	動物死体処理は早急に回収する必要があるため、業者委託により迅速に行う。	
委員会指摘事項		

No.	9 － 4	基本事務事業名	地球温暖化対策事務	事務事業名	地球温暖化対策事務	公的関与	1
シート作成日	令和3年11月19日						
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和	シート作成者名	三上　武士

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業　○ 2 ハード事業	○ 3 経常的事務事業　○ 4 施設の維持管理	○ 5 補助金・負担金・支援　○ 6 内部管理事務・その他
事業運営方法	☐ 1 直営　☑ 2 一部委託	☐ 3 全部委託　☐ 4 補助等	

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(4)環境保全の推進	◉ 1 該当	平成　年 ～ 令和 12 年　☐ 期間設定なし
	主要施策	(4)地球温暖化対策の推進	○ 2 非該当	根拠法令等：地球温暖化対策の推進に関する法律

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市が行う事務事業から排出される温室効果ガス
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	2030年度までに2013年度比で39.5%の削減を行います。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 阿波市地球温暖化対策実行計画の施策推進
	② 市施設からのCO2排出量削減を目的としたESCO事業の実施
	③ 住宅用太陽光発電システムを設置する市民への補助金交付
	④
	⑤

	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	阿波市事務事業からの温室効果ガス排出量削減目標	温室効果ガス排出量	t-CO2	目標	7,085	7,085	7,085	7,085
				実績	7,107	5,556		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目 5 環境衛生費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	74,278 千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	47,900 千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	25,552 千円	2,788 千円	2,150 千円	
	計(A)	147,730 千円	2,788 千円	2,150 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人　3,019 千円	0.500 人　3,059 千円	0.500 人　3,044 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	
全体事業費(A+B)		150,749 千円	5,847 千円	5,194 千円	

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	地球温暖化ガスの排出量さくげんは、法令等で対策が求められています。 また、住宅用太陽光発電システムの補助金についても地域からのCO2排出量削減に資するものです。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	地球温暖化対策は世界的な課題であり、市が策定した実行計画も国の削減目標に沿うもので有効なものです。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		阿波市が行う事務事業からのCO2排出量は、現計画での令和12年度の削減目標を達成しました。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	前年度に外注による業務を見直し、職員で行うようにしました。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	施設設備更新等によるハード面での取組みによる削減はできていますが、ソフト面での取組みについては課題があります。	地球の温暖化は、近年大規模災害を招くなど、将来に受け継ぐ重要な問題であります。 今後も、率先した意識向上の促進と、補助などの温暖化対策事業の推進に努めます。
改革案と実行計画	あわオフィスエコリーダーを中心とした、職員の地球温暖化対策に対する意識向上に努めていきます。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

No. 9 － 5	基本事務事業名	公害一般事務(騒音、振動、悪臭、外来種、水質汚濁)	事務事業名	特定施設届出事務	公的関与 1	シート作成日	令和3年11月17日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本 正和	シート作成者名	坂東 拓也

事業区分	○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(4)環境保全の推進	○ 1 該当	平成 年 ～ 令和 年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(3)環境問題への適切な対応	◉ 2 非該当	根拠法令等: 騒音規制法、県生活環境保全条例、水質汚濁防止法

PLAN

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		事業所等からの各種届出の受理、経由事務及び連絡調整
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	徳島県生活環境保全条例等の関係法令に基づき、環境保全に努める。
		今年度	徳島県生活環境保全条例等の関係法令に基づき、環境保全に努める。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 事業所等からの各種届の受付。
	② 関係機関への連絡調整。
	③ 苦情発生時には事業所への調査、指導。
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
	届出件数		件	目標				
				実績	33	15		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 環境衛生費

		令和 元 年度決算		令和 2 年度決算		令和 3 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		263 千円		312 千円		312 千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		千円		千円		千円	
	計(A)		263 千円		312 千円		312 千円	
人件費(B)	正職員工数･経費	0.100 人	604 千円	0.100 人	612 千円	0.100 人	609 千円	
	臨時･嘱託職種							
	臨時･嘱託工数･経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			867 千円		924 千円		921 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	安全安心な町づくり及び自然環境を守るために必要な業務である。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	健全な生活環境を守るために、施設を把握することは環境保全に有効である。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		事業所等からの届出のため目標設定は適当ではない。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	届出により現場確認を行うため、非効率である。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	届出書の内容について、法令遵守確認に時間を要す。	事業所等からの届出内容の審査を厳格に行い、適正な指導に努めます。
改革案と実行計画	関係機関と連携し、簡素化を検討する。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No.	9	ー	6	基本事務事業名	環境基本条例（開発行為の計画届出等）に関する事務	事務事業名	環境基本条例（開発行為の計画届出等）に関する事務	公的関与	1	シート作成日	令和3年11月19日
部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和	シート作成者名	三上　武士		

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業 / ○ 2 ハード事業	◉ 3 経常的事務事業 / ○ 4 施設の維持管理	○ 5 補助金・負担金・支援 / ○ 6 内部管理事務・その他
事業運営方法	☑ 1 直営 / ☐ 2 一部委託	☐ 3 全部委託 / ☐ 4 補助等	

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想（政策）	2. 安全・安心・快適な阿波		平成　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
基本計画（施策）	（4）環境保全の推進	◉ 1 該当	
主要施策	（1）環境基本計画の策定検討	○ 2 非該当	根拠法令等：

事業の対象・目的		
対象（誰を、何を）		開発行為を行う事業者が開発計画書により届出を行い、環境保全に努める。
目的（どういう状態にしたいのか）	最終的	住みよいまちづくりを推進するため、緑豊かな恵まれた自然環境や生活環境を守り、現在及び未来にわたり自然と調和した健康で夢と希望と活力あるまちづくりを推進します。
	今年度	開発計画が提出された場合は審議を行う。

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。（主なもの5つまで）

① 開発計画の協議
② 計画書の受付
③ 環境審議会の開催
④
⑤

数値目標（事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
	届出に対する事務事業のため、目標設定が不能		目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目：会計 一般会計　款 4 衛生費　項 1 保健衛生費　目 5 環境衛生費

		令和 元 年度決算		令和 2 年度決算		令和 3 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		千円		千円	44	千円	
	計（A）	0	千円	0	千円	44	千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	0.100 人 / 604	千円	0.100 人 / 612	千円	0.100 人 / 609	千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	人 / 0	千円	人 / 0	千円	人 / 0	千円	
全体事業費（A＋B）		604	千円	612	千円	653	千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
CHECK	必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市の環境保全のため必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
		2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
		3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
		4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
	有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	無秩序な開発の規制に有効です。	○ いえない	◉ いえる
		2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
		3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
		4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
	達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		数値目標の設定はしていませんが、開発行為に対し届出を課すことで、市の環境保全が一定水準で保たれていると考えます。	○ 目標に比べて劣っている	
		2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
		3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
		4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			◉ 十分達成している	
	効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	最小限の費用にて、市民の意識向上の助長と自然環境及び生活環境の保全に努めます。	○ 高い	◉ 適当
		2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
		3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
		4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION		一次評価					二次評価				
ACTION	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
	当面の課題	環境基本条例の目的を総合的、計画的に達成するため、環境基本計画を推進していくことが課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	全市的な環境保全の指針に基づき、開発行為の中身について審査、整合性が図れるよう環境基本計画をもとに実行します。					自然環境や生活環境を守るため、本条例による開発の制限は有効な施策です。今後も、適正な指導･運用に努めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No. 9 － 7	基本事務事業名	ごみ関係広報啓発事務	事務事業名	ごみ収集カレンダー作成事務	公的関与	3	シート作成日	令和3年8月1日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和		シート作成者名	坂東　秀和

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法: ☑ 1 直営　☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託　☐ 4 補助等
総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(1)ごみ収集・処理体制の充実	◉ 2 非該当	根拠法令等

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ごみの収集日を分かりやすく表示し、市民の方に確実に伝えます。また、ごみの出し方(分類)が分かりやすくなるように内容を検討していきます。さらにごみの出し方だけでなく減量化・リサイクルについても広報誌やケーブルテレビでも啓発を続けます。
		今年度	より理解しやすい表示を検討します。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① ごみカレンダーの作成
	② ごみカレンダーの配布
	③ ごみの減量化・リサイクルに関する啓発
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
	ごみカレンダー作成枚数	必要数の把握	枚	目標				
				実績	16,600	16,800		
	ごみカレンダー印刷製本費	費用の把握	円	目標			407,000	
				実績	292,160	301,625		
	ごみカレンダー配布手数料	費用の把握	円	目標			377,000	
				実績	376,750	298,925		

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 清掃総務費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	669 千円	601 千円	784 千円	
	計(A)	669 千円	601 千円	784 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.210 人　1,268 千円	0.210 人　1,285 千円	0.210 人　1,279 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	
全体事業費(A+B)		1,937 千円	1,886 千円	2,063 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	住民生活に必須であり、これからも引き続き必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	カレンダーや広報誌で、ごみの出し方を周知することで、収集までの流れがスムーズに伝わることから非常に有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		毎年試行錯誤を重ね改良していますので、最適な状態で作成できています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	入札制度を活用しており、コスト削減は最大限まで行っています。これからも適正な部数を検討し、コストの削減につなげます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	3	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	引き続き、適正部数の把握に努めます。	有料広告の取り組みなど、市財政への貢献も検討していただいています。 引き続き、市民の皆様が利用しやすいごみカレンダーの作成に努めます。
改革案と実行計画	入札によるコスト削減等に取り組んでおり、今後も適正部数の把握に努めます。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No. 9 － 8	基本事務事業名	生ごみ処理機購入補助金	事務事業名	生ごみ処理機購入補助金	公的関与 3	シート作成日	令和3年7月30日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和	シート作成者名	青江　卓巳

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実	◉ 1 該当	平成 17 年 ～ 令和　年 ☐ 期間設定なし
	主要施策	(2)4R運動の促進	○ 2 非該当	根拠法令等

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市内に住所を有するものが居宅に設置する電気式生ごみ処理機及びその購入者
	目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	阿波市内における生ごみの減量化及び資源化を図ります。
	今年度	申請に基づき予算の範囲内で推進します。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 交付申請に基づき審査し、交付決定後補助金を交付します。
	② 広報やホームページに事業内容の掲載をすることで、市民への周知を図ります。
	③
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標) 指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
生ごみ処理機設置数	予定設置件数	機	目標	10	10	10	
			実績	7	9		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	款 4	衛生費	項 2 清掃費	目 1	清掃総務費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	204 千円	215 千円	300 千円	
	計(A)	204 千円	215 千円	300 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.260 人 1,570 千円	0.260 人 1,591 千円	0.260 人 1,583 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費(A+B)		1,774 千円	1,806 千円	1,883 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

区分	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	生ごみ処理機は家庭の生ごみの量を減少させることができるため、阿波市が処理する生ごみの減量及び資源化を促進することができます。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	生ごみ処理機は家庭の生ごみの量の減少に有効であるため、今後も補助を続け多くの家庭に処理機が行き渡らせる必要があります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		補助金の申請件数は横ばいとなっているため、今後も事業の周知のを行う広報活動の必要性があります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	◉ あまり上がっていない			◉ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	生ごみ処理機の普及によりごみの減量に繋がることから、高い事業効果を見込んでいます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	2	4	A	4	4	2	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	生ごみ処理機の補助金申請数は横ばいとなっているので、この水準を維持するために継続して広報活動等で補助金制度の周知を行う必要があります。	本事業は、ごみの減量化や市民の意識向上において、重要なアイテムとなっています。 今後も補助を継続するとともに、新しい支援方法の検討とニーズ調査を進めます。
改革案と実行計画	ごみの減量化と資源化を図るため、予算の範囲内で計画的に推進します。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No.	9 － 9	基本事務事業名	生ごみ処理容器（コンポスト）の無償配布事業	事務事業名	生ごみ処理容器（コンポスト）の無償配布事業	公的関与	3
シート作成日	令和3年7月30日						
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和	シート作成者名	青江　卓巳

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他
事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託	
	☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等	

総合計画	基本構想（政策）	2．安全・安心・快適な阿波	
	基本計画（施策）	（5）ごみ処理等環境衛生の充実	
	主要施策	（2）4R運動の促進	
実施計画	◉ 1 該当	○ 2 非該当	
事業の開始・終了	令和 元 年 ～ 令和 年	☐ 期間設定なし	
根拠法令等			

事業の対象・目的	対象（誰を、何を）		阿波市内に住所を有するもの
	目的（どういう状態にしたいのか）	最終的	阿波市内における生ごみの減量化及び資源化を図ります。
		今年度	予算の範囲内で配布します。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。（主なもの5つまで）
	① 希望者に対してコンポストを配布します。
	② 広報に掲載をすることで、市民への周知を図ります。
	③
	④
	⑤

数値目標（事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
生ごみ処理容器（コンポスト）配布数	予定配布数	基	目標	200	250	100	
			実績	200	250		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計		款	4	衛生費	項	2	清掃費	目 1 清掃総務費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	935 千円	1,045 千円	524 千円	
	計（A）	935 千円	1,045 千円	524 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	0.260 人 1,570 千円	0.260 人 1,591 千円	0.260 人 1,583 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費（A＋B）		2,505 千円	2,636 千円	2,107 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	生ごみ処理容器は家庭の生ごみの量を減少させることができるため、阿波市が処理する生ごみの減量及び資源化を促進することができます。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	生ごみ処理容器は家庭の生ごみの量の減少に有効であるため、今後も補助を続け多くの家庭に処理機が行き渡らせる必要があります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		配布の実施ごとに配布数が増加しているため、引き続き事業を行い生ごみ処理容器をより多く配布する必要があります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	生ごみ処理容器の普及によりごみの減量に繋がることから、高い事業効果を見込んでいます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

		二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	今年度は応募者全員への配布を行えたが、配布数は例年より増加しており、今後の応募推移数の推移を考慮して事業を行う必要があります	本事業は、ごみの減量化や市民の意識向上において、重要なアイテムとなっています。 今後においても、補助事業に合わせて、配布の継続と市民周知に努めます。
改革案と実行計画	ごみの減量化と資源化を図るため、予算の範囲内で計画的に推進します。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No. 9 － 10	基本事務事業名	指定ごみ袋に関する事務	事務事業名	指定ごみ袋に関する事務	公的関与	3	シート作成日	令和3年7月22日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和		シート作成者名	桜川　治子

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金･負担金･支援	事業運営方法	☑ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務･その他		☑ 2 一部委託 / ☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全･安心･快適な阿波	実施計画	事業の開始･終了
	基本計画(施策)	(4)環境保全の推進	○ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(3)環境問題への適切な対応	◉ 2 非該当	根拠法令等：阿波市手数料徴収条例

事業の対象･目的	対象(誰を、何を)		阿波市民
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	必要量に応じた指定ごみ袋等(枚数)の確保
		今年度	安定供給

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 市指定ごみ袋の購入契約
② 本庁･各支所、保管倉庫の在庫調整
③ 取扱店への販売
④ 販売r手数料の支払事務
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
ごみ袋購入数	年間購入枚数		目標				
			実績	1,499,610	1,428,560		
ごみ袋等購入金額	必要経費の把握		目標			11,426,800	
			実績	8,611,700	5,236,000		
ごみ袋等販売手数料	消費枚数の把握、分析		目標			7,751,550	
			実績	7,440,100	7,246,300		

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	15,578 千円	18,294 千円	19,178 千円	
	計(A)	15,578 千円	18,294 千円	19,178 千円	
人件費(B)	正職員工数･経費	0.140 人 845 千円	0.140 人 856 千円	0.140 人 852 千円	
	臨時･嘱託職種				
	臨時･嘱託工数･経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費(A＋B)		16,423 千円	13,707 千円	20,030 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	日常生活での必要品である。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	重要度は高く、非常に有効。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		ごみ袋等を購入していただくことで処分費用の一部負担したという自覚、減量化への意識効果は高い。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	指名競争入札により適切な購入を実施している。引続きコスト削減に努める。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	広報等で周知を図り、ごみの減量化に努める。	市民への安定供給のため、適切な入札･契約事務を執行するとともに、「広告入り」ゴミ袋など、より市民の利便性につながるゴミ袋の導入を検討します。
改革案と実行計画	分別、リサイクルの周知を徹底する。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No.	9 － 11	基本事務事業名	ゴミステーションに関する事務	事務事業名	ゴミステーションに関する事務	公的関与	3
シート作成日	令和3年8月1日						
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	坂東秀和

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業 ○ 2 ハード事業	○ 3 経常的事務事業 ◉ 4 施設の維持管理	○ 5 補助金・負担金・支援 ○ 6 内部管理事務・その他
事業運営方法	☑ 1 直営 ☐ 2 一部委託	☐ 3 全部委託 ☐ 4 補助等	

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波		
基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年　☑ 期間設定なし
主要施策	(1)ごみ収集・処理体制の充実	○ 2 非該当	根拠法令等：阿波市地域ゴミステーション施設整備事業助成要綱

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		ゴミステーション
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ゴミステーションを自治会に管理してもらうことにより、ごみへの意識づくりをしてもらうとともに美しいまちづくりを目指します。
	今年度	ゴミステーションの新設及び修繕要望に対し、要綱に基づき原材料費を支給します。

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① ゴミステーションの新設及び修繕等に伴う助成申請の受付事務。
② 現場確認。
③ ゴミステーションへのごみ箱等の設置。
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
ゴミステーション設置数	必要数を把握するため	箇所	目標				
			実績	714	717		
ゴミステーション修繕助成件数	必要数を把握するため	件	目標			6	
			実績	3	6		
ゴミステーション新設助成件数	必要数を把握するため	件	目標			4	
			実績	2	2		

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4 衛生費	項	2 清掃費
目	2 塵芥処理費					

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,310 千円	2,417 千円	2,171 千円	
	計(A)	1,310 千円	2,417 千円	2,171 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人 604 千円	0.100 人 612 千円	0.100 人 609 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費(A+B)		1,914 千円	3,029 千円	2,780 千円	

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	ゴミステーションの必要性を考えると廃止することはできません。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	ゴミステーションの適切な運営を続けるには有効な施策です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		市民からの申請に対して発生する事務のため、目標設定は困難です。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	原材料費のみ支給しているため、これ以上のコスト削減は困難です。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	この助成の認知度が低いため、広報などで周知するべきだが、予算規模が小さいため、申請が多くなると希望者全員に対応しきれなくなるという課題があります。	ごみステーションを利用した家庭ごみ収集は、阿波市民に定着した方法となっています。 ステーションの維持・修繕に必要となる助成金については、自治会等のニーズ・実情に合わせた内容となるよう、調査研究に努めます。 また助成金などについて多様な媒体を使い、広く市民周知に努めます。
改革案と実行計画	令和2年度から予算を増やし事業に取り組んでいます。今後も現在の予算規模を維持し、希望者への対応に努めます。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

PLAN

No.	9 － 12	基本事務事業名	資源ごみ収集事務	事務事業名	資源ごみ収集事務	公的関与 3	シート作成日	令和3年8月1日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和		シート作成者名	坂東　秀和
事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営		☐ 3 全部委託	
	○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☑ 2 一部委託		☐ 4 補助等	
総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波		実施計画	事業の開始・終了			
	基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実		◉ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年		☑ 期間設定なし	
	主要施策	(2)4R運動の促進		○ 2 非該当	根拠法令等	阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)を促進し、ごみの減量化とごみを出さない生活様式を確立し、更に資源ごみを有効利用し、地球にやさしいリサイクル社会を構築します。
		今年度	分別の推進により、可燃ごみで出されてしまっている古紙などの資源ごみを減らしていきます。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 資源ごみ(缶・ビン・ペットボトル)の収集運搬を阿波・市場は直営で行い、土成・吉野は委託業者により行います。
	② 資源ごみ(新聞・雑誌・段ボール・紙パック)は各4地区で月1回拠点回収を行います。
	③ 回収された資源ごみは、各品目からさらに仕分けを行います。
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
	資源ごみ収集量		t	目標				
				実績	681	778		
	資源ごみ収集委託業者		社	目標			5	
				実績	5	5		
	資源ごみ分別に係る時間		時間	目標				
				実績	12,716	13,843		

DO

予算費目	会計	一般会計	款 4 衛生費	項 2 清掃費	目 2 塵芥処理費		

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	7,656 千円	8,201 千円	7,956 千円	
	計(A)	7,656 千円	8,201 千円	7,956 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人 3,019 千円	人 0 千円	0.500 人 3,044 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費(A+B)		10,675 千円	8,201 千円	11,000 千円	

CHECK

区分	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	地球環境を考えたごみ施策のなかでも資源ごみ収集・リサイクルは大きな役割を占めており市民生活に必要になります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	市民自らがごみ分別の徹底に取組む中で、市民それぞれがリサイクルに対する意識の向上が図られてきており有効であると思われます。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		市が3R運動を積極的に推進することによりごみ量の削減と環境保全のため啓発・指導を図ることにより成果の向上が見込まれます。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	今後、契約方法の見直しなど適正・効率的なごみ収集運搬体制を構築し継続的に事業を実施していきます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	◉ ある	○ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	3	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

項目	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	循環型社会確立のため資源ごみに分別収集の必要性について自治会等を通じて広報・啓発を行う必要があります。	市民に対し、循環型社会の実現の重要性ついて、根気よく広報・啓発を続けます。
改革案と実行計画	契約方法の見直しなど、コスト面だけでなく、利便性も考慮しながら、引き続き効率的な資源ごみ収集を進めるべきと思われます。	
委員会指摘事項		

No.	9 － 13	基本事務事業名	家庭ごみ収集事務	事務事業名	家庭ごみ収集事務	公的関与 3	シート作成日	令和3年8月1日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本正和		シート作成者名	坂東　秀和

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法：☑ 1 直営　☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☑ 2 一部委託　☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実	○ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(1)ごみ収集・処理体制の充実	◉ 2 非該当	根拠法令等：阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	一般廃棄物(家庭ごみ)の排出を抑制するとともに、一般廃棄物の適正な分別・処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。
		今年度	広報により可燃ごみの減量化を推進します。

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 家庭ごみ(可燃ごみ)の収集運搬を阿波市・市場町は直営で行い、土成・吉野は委託業者により行う。
② 家庭ごみ(可燃ごみ)は毎月・毎週2回(月曜日・木曜日)各ステーションで回収を行う。
③ ごみ分別収集のチラシや市広報誌等により啓発を実施する。
④ 市民の環境保全意識の高揚に努め市民との協働のもと、不法投棄の監視・指導体制を強化する。
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
家庭ごみ収集量(可燃ごみ)		t	目標				
			実績	10,068	9,981		
家庭ごみ収集委託業者		社	目標				
			実績	3	3		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	67,885 千円	68,508 千円	90,713 千円	
	計(A)	67,885 千円	68,508 千円	90,713 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	3.650 人　22,037 千円	3.650 人　22,329 千円	3.650 人　22,224 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		89,922 千円	90,837 千円	112,937 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	各家庭から排出される家庭系一般廃棄物のごみ処理は市の責務であり、必要不可欠です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	家庭ごみ分別とごみ減量化の必要性を認識して頂き、ごみ減量化の促進を図る上で有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		ステーションへの分別搬入及び処理方法については一応成果が上がってきている。今後もコンポストの無料配布などより家庭ごみの減量化に取り組みます。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	収集運搬業務については、直営と委託の2方式で行っており、地域の実情に即した方法であると思われます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	ごみの出し方について、時間･曜日･品目を守れていないケースがよく見られます。周辺住民と協力し監視、指導を行っていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点：収集体制は各地域に定着していますが、「適正な分別」によるごみの出し方や減量化について、広報･啓発等の推進を図ります。				
改革案と実行計画	ごみの適正な出し方を説明し、住民の理解と協力を得れるよう自治会へ働きかけます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No. 9 － 14	基本事務事業名	粗大ごみ収集事務	事務事業名	粗大ごみ収集事務	公的関与	3	シート作成日	令和3年8月1日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本正和		シート作成者名	坂東秀和

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他
事業運営方法	☑ 1 直営	☐ 3 全部委託	
	☑ 2 一部委託	☐ 4 補助等	

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画
	基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実	◉ 1 該当
	主要施策	(1)ごみ収集・処理体制の充実	○ 2 非該当
事業の開始・終了	平成　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし		
根拠法令等	阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	一般廃棄物(粗大ごみ)の排出を抑制するとともに、廃棄物の適正な分別・運搬・処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。
		今年度	まれに産業廃棄物が持ち込まれ、収集できない場合があるので広報等により周知を検討します。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 粗大ごみの収集を阿波・市場・土成は各収集場所で回収し、吉野町については委託業者により行う。
	② 粗大ごみは市場(第一日曜日)、土成(第二日曜日)、吉野(第一・三金曜日)(第二・四金曜日)、阿波(第四日曜日)に各指定の場所で収集作業を実施。
	③ ごみ分別収集のチラシや市広報誌等により啓発を実施。
	④ 市民の環境保全意識の高揚に努め市民との協働のもと、不法投棄の監視・指導体制を強化する。
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
粗大ごみ収集量		t	目標				
			実績	124	162		
粗大ごみ収集委託業者		社	目標				
			実績	2	2		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,548 千円	2,101 千円	千円	
	計(A)	1,548 千円	2,101 千円	1,320 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	1.700 人 10,264 千円	1.700 人 10,400 千円	1.700 人 10,351 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費(A+B)		11,812 千円	12,501 千円	11,671 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	一般廃棄物処理は自治体の固有業務であり、粗大ごみについても市は適正な処理を推進すべきものであり必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	自主的な4R運動を促進し、生活環境の保全に必要不可欠な事業であり、ごみを適正に収集することにより良好な環境づくりを促進します。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		広報啓発活動により排出量の抑制が図られています。また、適正な収集運搬処理に取組むことにより生活環境の保全と意識高揚が図られるよう努めます。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	リサイクル意識の向上と普及により市民のリユース（再利用）意識は高まりつつあるが、現状は発生抑制を図り、循環型社会の実現に向けた成果が発揮できると思われます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	令和2年度は粗大ごみ収集量が増加しましたが、これはコロナ禍で家庭で過ごす時間が増えたたことも影響したと考えられます。これからも粗大ごみ収集量の推移を注視しながら、資源循環型社会構築に向け、市民意識の高揚を図り、一般廃棄物（粗大ごみ）の減量化・資源化を進める必要があります。	減量化、資源化を行うためには、普及・啓発が重要となりますので検討を行います。 また、高齢者世帯での収集方法についても検討を重ねます。
改革案と実行計画	今後、適正・効率的なごみ収集運搬処理体制を構築し継続的に事業を実施します。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No.	9	－	15	基本事務事業名	廃家電リサイクル処理事務	事務事業名	廃家電リサイクル処理事務	公的関与	3	シート作成日	令和3年8月1日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本正和	シート作成者名	坂東秀和				

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	◉ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☐ 4 補助等

総合計画		実施計画	事業の開始・終了
基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波		
基本計画(施策)	(5)ごみ処理等環境衛生の充実	◉ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
主要施策	(1)ごみ収集・処理体制の充実	○ 2 非該当	根拠法令等：家電リサイクル法

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		廃家電4品目
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市民から搬入されるものと、不法投棄されたものについて適正に処理を行います。
	今年度	不法投棄の防止に関しては広報誌やCATV等で周知を行い啓発をおこないます。また不法投棄が多発している場所には看板を立てるなどの防止活動を行い処理数を削減します。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 処理方法に関する問い合わせへの対応。
	② 住民から持ち込まれる分に対する受け取り。
	③ 不法投棄分のリサイクル券の購入。
	④ 各処理施設への搬入。
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標) 指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
不法投棄処理に伴うリサイクル券購入枚数	処理を行う必要数。	枚	目標				
			実績	43	51		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	138 千円	140 千円	257 千円	
	計(A)	138 千円	140 千円	257 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.160 人 966 千円	0.160 人 979 千円	0.160 人 974 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円	
全体事業費(A+B)		1,104 千円	1,119 千円	1,231 千円	

阿波市全庁評価シート 令和2年度実施事業対象

		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
CHECK	必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	廃棄物処理として必要です。不法投棄の防止のため広く周知することが必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
		2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
		3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
		4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
	有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	市民生活での重要度が高いため非常に有効です。	○ いえない	◉ いえる
		2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
		3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
		4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
	達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		随時発生する廃棄物なので、数値等の目標設定は出来ません。	○ 目標に比べて劣っている	
		2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
		3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
		4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	◉ 十分達成している			◉ 十分達成している	
	効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	リサイクル意識の向上と普及により市民のリユース（再利用）意識は高まりつつあるが、現状は発生抑制を図り、循環型社会の実現に向けた成果が発揮できると思われます。	○ 高い	◉ 適当
		2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
		3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
		4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	不法投棄による廃家電を少なくすることと、処理方法の周知が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	不法投棄により発生する量が大半を占めており、少しでも削減できるよう不法投棄防止の啓発を行います。					広報誌等を通じた啓発により、周知が図られ、市民の理解も図られています。 今後においても不法投棄防止に向けた啓発に努めます。				
委員会指摘事項										

No.	9 － 16	基本事務事業名	公害・苦情・不法投棄等事務	事務事業名	公害・苦情・不法投棄等事務	公的関与 4	シート作成日	令和3年11月19日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和		シート作成者名	三上　武士

PLAN

事業区分	◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☐ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(4)環境保全の推進	◉ 1 該当	平成　年 ～ 令和　年 ☑ 期間設定なし
	主要施策	(3)環境問題への適切な対応	○ 2 非該当	根拠法令等

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市内全域
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市内企業、市民に広報等による啓発活動を行い、苦情がないように環境保全に努めます。
		今年度	広報等にて啓発活動を行います。関係機関と連携しパトロールを強化し不法投棄の撲滅を図ります。

事業の活動内容
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
① 市民からの通報による現場確認
② パトロール、看板設置等
③ 関係機関との連絡調整、回収作業
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
苦情、相談件数		件	目標	100	100	100	0
			実績		125		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	506 千円	120 千円	50 千円	
	計(A)	506 千円	120 千円	50 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人 1,208 千円	0.200 人 1,224 千円	0.200 人 1,218 千円	
	臨時・嘱託職種	塵芥作業員	塵芥作業員	塵芥作業員	
	臨時・嘱託工数・経費	0.300 人 689 千円	0.300 人 676 千円	0.300 人 693 千円	
全体事業費(A+B)		2,403 千円	2,019 千円	1,960 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
CHECK	必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市の環境保全のため必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
		2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
		3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
		4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
	有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	市の環境保全に有効です	○ いえない	◉ いえる
		2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
		3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
		4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
	達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		苦情申し立ての件数は、増加傾向です。	○ 目標に比べて劣っている	
		2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
		3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
		4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			◉ 十分達成している	
	効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	この業務については、ほぼ内部でおこなっていることから、効率性を見直す余地もあまりありません。	○ 高い	◉ 適当
		2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
		3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
		4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	関係機関、市民等からの通報により現地確認を行い、早急な対応に努めます。	地域住民と協力し、不法投棄防止に向けたパトロールを強化するとともに、市民の意識向上と環境美化の推進を図るため、広報など多くの機会を利用して周知を行います。
改革案と実行計画	監視体制の強化、環境保全に対する理解を深めてもらうために、広報等の充実を図ります。	
委員会指摘事項		

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

No. 9 － 17	基本事務事業名	浄化槽設置整備事業	事務事業名	浄化槽設置整備事業	公的関与 3	シート作成日	令和3年7月30日
部局名	市民部	課名	環境衛生課	主務課長名	岡本　正和	シート作成者名	青江　卓巳

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法：☐ 1 直営　☐ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☐ 2 一部委託　☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心・快適な阿波	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(6)水道・排水処理の充実	◉ 1 該当	令和 2 年 ～ 令和 6 年　☐ 期間設定なし
	主要施策	(6)生活排水対策の計画的推進	○ 2 非該当	根拠法令等：

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市全域(農業集落排水整備区域を除く)
	目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	阿波市全域(農業集落排水整備区域を除く)において、既存単独処理浄化槽及び汲み取り槽を全て合併処理浄化槽に転換し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、環境にやさしいまちづくりを目指します。
	今年度	申請に基づき予算の範囲内で執行します。

事業の活動内容　具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 交付申請に基づき補助対象区域及び終末排水路の有無を現地確認後に補助金交付決定通知書の交付
② 補助金交付決定通知後に単独処理浄化槽または汲み取り槽の撤去の確認、合併処理浄化槽本体、埋設、配管路の現地確認
③ 実績報告書受理後に工事完了確認
④ 補助金交付額確定通知書を送付し、交付請求により補助金の交付
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標
浄化槽設置数	予定設置件数	基	目標	125	80	80	
			実績	73	78		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目　会計　款 4 衛生費　項 2 清掃費　目 3 浄化槽整備事業費

		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	1,802 千円	7,965 千円	7,965 千円	
	県支出金	3,849 千円	3,704 千円	3,840 千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	12,287 千円	4,635 千円	16,479 千円	
	計(A)	17,938 千円	16,304 千円	28,284 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人　6,038 千円	1.000 人　6,118 千円	1.000 人　6,089 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	人　0 千円	人　0 千円	人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		23,976 千円	22,422 千円	34,373 千円	

阿波市全庁評価シート　令和2年度実施事業対象

CHECK

		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	環境保全と快適な環境づくりに水質汚濁の防止は必要不可欠な事業です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	家庭からの排水改善には新築を別にして、既存の単独処理浄化槽または汲み取り槽を合併処理浄化槽に設置替えすることで改善を図ることができます。	○ いえない	◉ いえる
	2．	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		合併処理浄化槽の設置は53%程度となっており、今後も転換の推進に努力します。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	◉ あまり上がっていない			◉ あまり上がっていない	
	3．	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．	効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	公共下水道と比較しても低コストで設置でき、効率性も非常に高いです。	○ 高い	◉ 適当
	2．	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	2	4	A	4	4	2	4	A
今後の方向性	○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大･充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		

	一次評価	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点
当面の課題	既存の単独処理浄化槽または汲み取り槽を合併処理浄化槽への設置替えを積極的に行い、合併処理浄化槽の普及率の向上を図ります。 公共水域等の放流先がない場所についての対応策としては建設部、産業経済部と協力しながら進めていきます。	水質汚濁防止の観点からも、なお一層の広報啓発を行い、合併処理浄化槽への転換･推進に対し、より効果的な方策を検討し、実践します。
改革案と実行計画	広報誌及びホームページを活用し、市民へ情報提供します。	
委員会指摘事項		